

# 富 学 校 要 覧

## 2023



## 福井県立大野高等学校

〒912-0085 福井県大野市新庄10号28番地

TEL 0779-66-3411

FAX 0779-66-4329

FAX 0779-66-2466 (定時制専用)

# 大野高等学校校歌

作詞 三好達治  
作曲 清水脩

## 一、古志の奥 大野が原は

風清ら 水清ら 山も清らに  
おのづから通ひて 子らが  
萌えいづる 心ごころに  
ふふむらむ 夢さへ清ら  
額高く 誇りにかに さやけ 清ら

## 二、古志の奥 大野が子らは

眉清ら 智慧清ら 心清らに  
おのづから結ぶ 友垣  
学び舎に み雪ふる日も  
玉しきの 学びの道を  
わけ尋はな 見のはるけ たぬし はるけ

## 三、ふる国の ふるき郡の

名もゆかし 二帆前  
大野丸 波のりゆきし：  
後の子も おくれじものを

昭和三十一年十月十九日作

## 目次

福井県立大野高等学校教育方針 .....	1
学校の沿革 .....	1
〈全日制〉	
1 努力目標 .....	3
2 教職員および組織 .....	5
3 教育課程 .....	6
4 生徒に関する諸調査および統計 .....	7
5 進路状況 .....	8
6 生徒活動 .....	9
7 学校行事 .....	10
8 校時表 .....	10
〈定時制〉	
1 努力目標 .....	11
2 教育課程 .....	12
3 教職員および組織 .....	13
4 生徒に関する諸調査および統計 .....	14
5 生徒活動 .....	15
6 学校行事 .....	16
7 校時表 .....	16
教職員一覧 .....	17
学校図書館の概況 .....	19

## 福井県立大野高等学校教育方針

1. 真理探求の精神を啓発し、併せて道理を尊重する気風を盛んにする。
2. 自由には責任を伴うことを自覚させ、自主自律の精神を養成する。
3. 和ぎの心を以って、我に執する事なく、常に他と協調する態度を学ばせる。
4. 郷土の美風たる堅忍持久の精神を培養し、以って勤労愛好の気風を助長する。

### 学 校 の 沿 革

#### (福井県立大野中学校)

- 明治34年4月 福井県立福井中学校大野分校が大野郡大野町亀山（現大野市城町、旧大野高等学校所在地）において開校される。
- 明治38年4月 福井県立福井中学校から独立し、福井県立大野中学校となる。
- 明治40年3月 第1回卒業証書授与式が举行される。
- 大正14年5月 創立20周年記念式典および記念行事を行う。
- 昭和3年7月 大野中学校校歌ができる。
- 昭和10年5月 創立30周年記念ならびに校舎改築落成記念祝賀会を行う。
- 昭和23年4月 学制改革により総合制高等学校として発足する。

#### (福井県立大野高等女学校)

- 明治44年7月 大野郡立実業女学校が大野町清水（現大野市天神町）において開校される。
- 大正5年5月 大野郡立実業女学校が廃止され、福井県大野郡立実科高等女学校として発足する。
- 大正10年4月 大野郡立実科高等女学校の組織が変更され、福井県大野高等女学校となる。
- 大正12年4月 福井県大野高等女学校が県立に移管され、福井県立大野高等女学校となる。
- 昭和23年4月 学制改革により総合制高等学校として発足する。

#### (福井県立大野農林学校)

- 大正7年7月 下庄村立農業補習学校が大野郡下庄村中野、下庄尋常高等小学校に附設される。
- 昭和5年4月 下庄村立農業補習学校が廃止され、下庄村立公民学校が大野郡下庄村尋常高等小学校に附設される。
- 昭和10年4月 下庄村立公民学校を下庄村立実業青年学校と改称する。

- 昭和17年4月 下庄村立実業青年学校が改組され、実業学校令に基づく、下庄村立大野農学校となる。
- 昭和19年4月 下庄村立大野農学校が県立に移管され、福井県立大野農林学校となる。
- 昭和23年4月 学制改革により総合制高等学校として発足する。

**(福井県立大野高等学校)**

- 昭和23年4月 学制改革により、大野中学校・大野高等女学校・大野農林学校の県立学校3校が合併され、福井県立大野高等学校〔設置課程4（普・商・家・農）、全日制、男女共学総合制〕となる。
- 昭和23年6月 定時制課程〔夜間、設置課程2（普・家）〕を併置する。
- 昭和24年4月 ホームルーム制が発足する。
- 昭和26年10月 校舎の増改築が完了し、南校（旧大野高等女学校跡）・北校（旧大野農林学校跡）を廃止する。
- 昭和29年3月 定時制課程の設置課程のうち家庭課程を廃止する。
- 昭和30年11月 福井県立大野高等学校創立50周年記念式典および記念行事を挙げる。
- 昭和31年12月 作詞・三好達治、作曲・清水脩により校歌ができる。
- 昭和32年4月 全日制的設置課程のうち、家庭課程を廃止する。
- 昭和39年5月 図書館が完成する。
- 昭和40年3月 大野郡和泉村出身者のための寄宿舍、竜泉寮を大野市新庄に建設する。
- 昭和40年11月 福井県立大野高等学校創立60周年記念式典および記念行事を行う。
- 昭和41年3月 全日制課程農業科の募集を停止する。
- 昭和42年3月 本館建築第1期工事が完了する。全日制課程の農業科を廃止する。
- 昭和43年4月 定時制課程普通科に昼間二部制を増置する。
- 昭和50年10月 福井県立大野高等学校創立70周年記念式典および記念行事を行う。
- 昭和55年9月 定時制校舎（鉄筋）が完成する。
- 昭和55年12月 定時制校舎（旧大野職業安定所庁舎）の改修工事が完了する。
- 昭和58年3月 定時制課程夜間部（普通科）の募集を停止する。
- 昭和60年3月 定時制課程夜間部を廃止する。
- 昭和60年11月 福井県立大野高等学校創立80周年記念式典および記念行事を行う。
- 平成元年3月 福井県立大野高等学校の移転新築地が新庄、篠座地係に決定する。
- 平成2年7月 福井県立大野高等学校の敷地造成が完成する。
- 平成3年4月 全日制課程商業科の募集を停止する。
- 平成3年10月 福井県立大野高等学校の校舎建築に着工する。
- 平成5年3月 福井県立大野高等学校の校舎が完成する。
- 平成5年4月 大野市新庄に移転開校する。
- 平成5年10月 福井県立大野高等学校創立88周年・移転新築記念式典を行う。
- 平成6年3月 プール・弓道場が完成する。
- 平成16年3月 冷房装置の設置が完了する。
- ” 太陽光発電装置が完成する。
- 平成17年10月 福井県立大野高等学校創立100周年記念式典および記念行事を行う。
- 平成22年4月 定時制課程を単位制・2学期制とする。

# 〈全 日 制〉

## 1 努力目標

### 1. 学校努力目標

- 学力の伸長
- 体力の向上
- 人格の陶冶

### 2. 各部努力目標

#### (1) 教務部

- ア 生徒の基礎学力の定着を図るとともに、学習意欲を高める授業に努める。
- イ 教員の授業力向上を図り、生徒の主体的・対話的で深い学びの実現に努める。

#### (2) 図書・庶務部

- ア 生徒の読書意欲が高まる啓蒙活動と環境づくりに努める。
- イ 生徒の健全な育成を目指し、保護者・同窓生との連携を深める。
- ウ 使いやすく安全な教育設備環境の充実・整備・保全に努める。

#### (3) 生徒支援部

- ア 規範意識の向上に努める。
- イ 学校祭・委員会活動・部活動に主体的に取り組む生徒の育成に努める。
- ウ 交通マナーの定着や防犯意識の向上に努める。

#### (4) 進路支援部

- ア 進路目標の早期設定を図り、実現に向けた方策の具体化を進める。
- イ 生徒の進路意識の高揚と教員の支援体制の充実を図る。
- ウ 大学入学共通テストや模擬試験の分析を行い、対策を講じる。
- エ 新課程での大学入学共通テストの情報収集を行い、対策を講じる。

#### (5) 保健相談部

- ア 生涯にわたり心豊かで健康に生きようとする生徒の育成に努める。
- イ 啓発活動を通して、生徒の健康に対する自己管理能力の向上に努める。
- ウ 生徒一人ひとりに応じた教育相談活動の充実に努める。
- エ 学習環境の美化を図り、清掃活動の徹底に努める。

#### (6) 探究企画ユニット

- 一人ひとりが自ら考え、判断し、行動できる生徒を育成するために、「総合的な探究の時間」および自主学習時間「D-Time」の充実と、持続的な体制づくりに努める。

### 3. 学年会・教科努力目標

#### (1) 第1学年

- ア 基本的生活習慣を確立して、心身ともに健康な高校生活を送る。
- イ 学習習慣を確立して基礎学力の定着を図り、学びに向かう態度を身に付ける。
- ウ 学校行事や諸活動を通して、望ましい人間関係を築き、人格の形成に努める。

#### (2) 第2学年

- ア 学習習慣を確立して学力の向上を図るとともに、思考力・表現力を身につける。
- イ 学校行事や諸活動を通して、望ましい人間関係を築き、人格の形成に努める。

ウ 能力や適性、興味関心に基づいた進路目標を自ら確立し、主体的に学びに向かう態度を育む。

(3) 第3学年

ア より良い生活習慣や学習習慣の定着を図るとともに、生きる力を育み情操豊かな自己を確立させる。

イ 最高学年としての自覚を持ち、望ましい人間関係の形成を図る。

ウ 自らの進路目標を明確にし、進路実現に向けて積極的に取り組む態度の育成に努める。

(4) 国語科

ア 国語に対する学習意欲を高め、実社会に必要な基礎技能や知識の修得に努める。

イ 共感的に他者との関わり合いをもつことができ、論理的に自己の考えを深め、社会の多様化する課題に取り組もうとする態度をもつ生徒の育成に努める。

(5) 地歴・公民科

ア ICT機器を活用し、社会事象への興味・関心を高める授業の実践に努める。

イ 基礎学力の定着を図るとともに、市民社会の一員としての態度の育成に努める。

ウ 地理歴史科、公民科を相互に関連させ総合的な理解力の育成に努める。

(6) 数学科

ア 基礎学力の定着および論理的な思考力の育成に努める。

イ 数学に対する興味・関心を喚起させ、意欲的に学習する態度の育成に努める。

(7) 理科

科学に対する興味・関心を高めるとともに、科学的な見方や考え方の育成に努める。

ア 基礎・基本の定着を目指した授業を展開する。

イ 演習や観察・実験を通じて、思考力・判断力・表現力を養う。

ウ 個に応じた学習の充実のため、ICTを積極的に活用する。

(8) 英語科

ア 英語の学力向上に努め、生徒の進路実現を積極的に支援する。

イ 英語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、情報や考えなどを英語で表現する能力と積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成に努める。

(9) 保健体育科

主体的・合理的な実践を通して、健康の保持増進・体力の向上を目指し、生涯にわたって明るく豊かなスポーツライフを継続する態度や能力の育成を図る。

(10) 芸術科

ア 生涯にわたって芸術を愛好する心情を育てる。

イ 芸術の幅広い活動を通して、感性を高め、芸術の諸能力を伸ばし、豊かな情操を養う。

(11) 家庭科

多様化が進む現代社会において、主体的に生活を営み、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度の育成に努める。

(12) 情報科

ア コンピュータや情報通信ネットワークなどを活用するための知識と技能の習得を図る。

イ 情報を主体的に活用しようとする態度の育成に努める。

ウ 社会の中で情報および情報技術が果たしている役割や影響についての理解力の育成に努める。

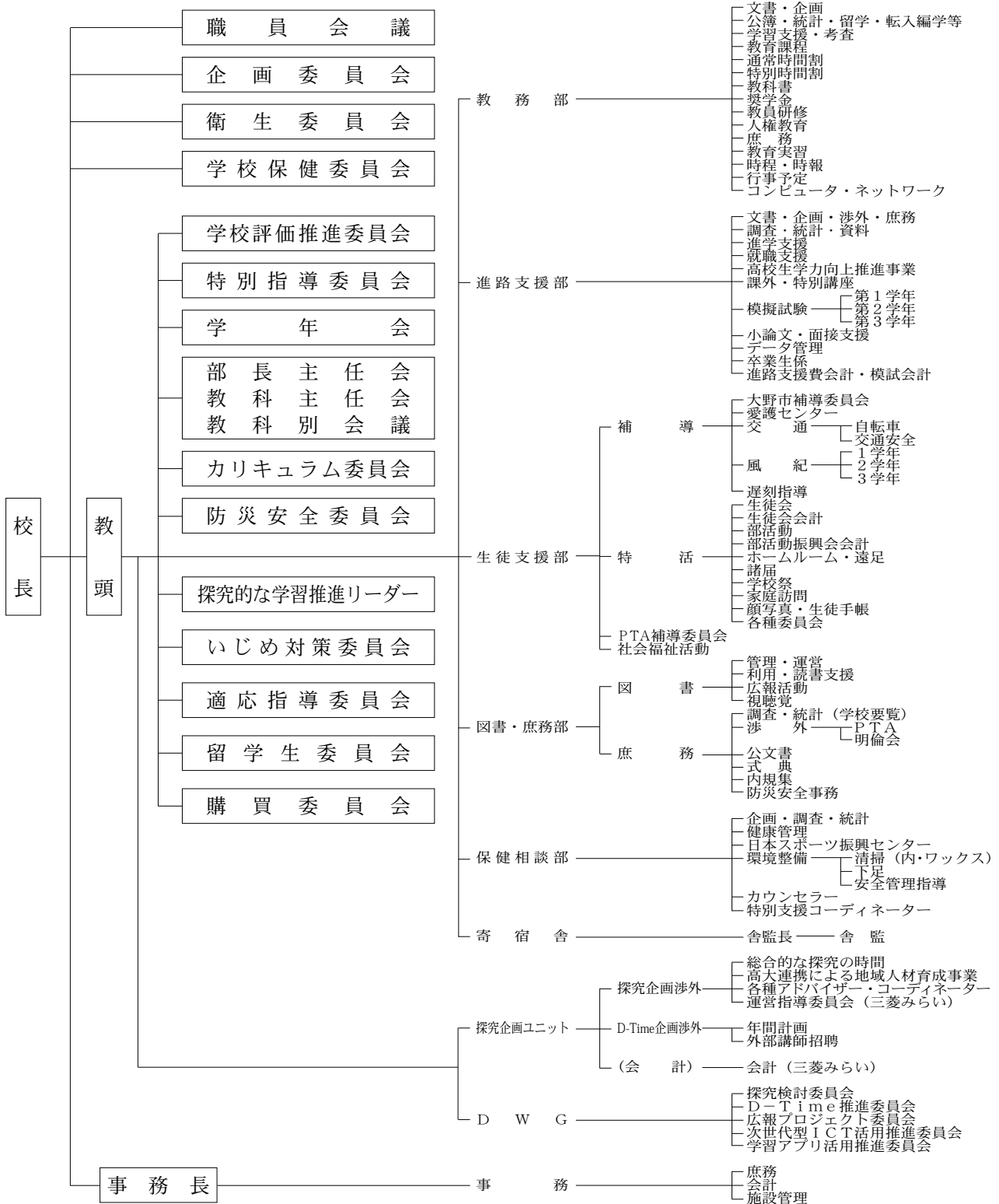
## 2 教職員および組織

### (1) 教職員数

(令和5年4月現在)

職名	校長	教頭	教諭	養護教諭	実習助手	臨時任用講師	養護助教諭	非常勤講師	事務長	事務職員	校務員	非常勤舎監	臨任調理員	英語指導助手	校医	薬剤師	合計
人数	1	1	32	1	2	2	1	6	1	2	3	1	1	1	2	1	58

### (2) 校務分掌



### 3 教育課程

#### 令和5年度 第1・第2学年教育課程

#### 第3学年教育課程

各教科	科目	学年		
		1年	2年	
		共通	文・S文	理・S理
国語	現代の国語	2		
	言語文化	3		
	論理国語		2	2
	文学国語		2	
	国語表現			
地理歴史	古典探究		2	2
	地理総合		2	2
	地理探究			
	歴史総合	2		
公民	日本史探究		3	
	世界史探究			
数学	公民	2		
	倫理			
	政治・経済			
	数学Ⅰ	3		
	数学Ⅱ		3	4
	数学Ⅲ			
理科	数学A	2		
	数学B		2	1
	数学C			1
	科学と人間生活	2		
	物理基礎			3
	化学基礎		2	2
	生物基礎	2		2
保健体育	生物学基礎			
	地学基礎			
芸術	体育	1, 1	2	2
	保健	1	1	1
	音楽Ⅰ	2		
	音楽Ⅱ			
	音楽Ⅲ			
	美術Ⅰ	2		
	美術Ⅱ			
	美術Ⅲ			
	工芸Ⅰ			
	工芸Ⅱ			
外国語	工芸Ⅲ			
	書道Ⅰ	2		
	書道Ⅱ			
家庭	書道Ⅲ			
	英語コミュニケーションⅠ	3		
	英語コミュニケーションⅡ		5	4
情報	英語コミュニケーションⅢ			
	論理・表現Ⅰ	2		
	論理・表現Ⅱ		2	2
理数	論理・表現Ⅲ			
	家庭基礎		2	2
専門科目計	家庭総合			
	情報Ⅰ	2		
小計	情報Ⅱ			
	理数探究基礎			
ホームルーム活動	理数探究			
	総合的な探究の時間	1	1	1
自立活動	※	※	※	※
	合計	32	32	32
備考	芸術は音楽Ⅰ、美術Ⅰ、書道Ⅰから1科目を選択	地理歴史は世界史探究、日本史探究から1科目を選択	理科は物理、生物から1科目を選択	

各教科	科目	学年		
		S文系	文系	理系
国語	国語総合			
	国語表現			
	現代文A			
	現代文B	3	3	2
	古典A			
	古典B	4	4	3
地理歴史	世界史A			2
	世界史B	4 ○4	4	
	日本史A			
	日本史B	4 ○4		
	地理A			
	地理B			2
公民	現代社会			
	倫理			
	政治・経済	○4	4	
数学	数学Ⅰ			
	数学Ⅱ	3	3	
	数学Ⅲ			5
	数学A	2	△2	
	数学B			2
	数学活用			
理科	科学と人間生活			
	物理基礎			4
	化学基礎	2	▲2	
	化学			4
	生物基礎	2	2	
	生物			
	地学基礎			
保健体育	理科課題研究			
	体育	3	3	3
芸術	保健			
	音楽Ⅰ			
	音楽Ⅱ			
	音楽Ⅲ			
	美術Ⅰ		▲2	
	美術Ⅱ			
	美術Ⅲ			
	工芸Ⅰ			
	工芸Ⅱ			
	工芸Ⅲ			
外国語	書道Ⅰ			
	書道Ⅱ			
	書道Ⅲ			
家庭	コミュニケーション英語基礎			
	コミュニケーション英語Ⅰ			
	コミュニケーション英語Ⅱ			
	コミュニケーション英語Ⅲ	4	4	4
	英語表現Ⅰ			
	英語表現Ⅱ	2	2	2
情報	英語会話			
	家庭基礎		△2	
専門科目計	家庭総合			
	生活デザイン			
小計	社会と情報			
	情報Ⅰ	33	33	33
ホームルーム活動	情報の科学			
	ホームルーム活動	1	1	1
自立活動	総合的な探究の時間	1	1	1
	合計	35	35	35
備考	【S文系】地理歴史は世界史B、日本史Bを2年での選択で継続。○4は、3科目から1科目を選択。ただし、上記の選択と重複は不可。			
	【文系】地理歴史は世界史B、日本史Bから継続して選択。△2および▲2は、それぞれ1科目を選択。			
	【理系】理科は物理、化学を2年での選択で継続。			



#### 4 生徒に関する諸調査および統計

(1) 在籍生徒数および学級編成 (令和5年4月1日現在)

年	組	正担任	副担任	男子	女子	合計	備考
1 年 生	A	松 居	酒井・小谷	19	12	31	
	B	大 森	山 本	18	13	31	
	C	藤 間	反 保	20	11	31	
	D	中 井	竹 内	18	15	33	
	1 年 計				75	51	126
2 年 生	A	南 部 諭	時田・山口	15	13	28	
	B	小 池	澤 田	6	17	23	
	C	松 山	小 松	18	7	25	
	D	永 吉	稲 葉	20	9	29	
	2 年 計				59	46	105
3 年 生	A	榑 原	阪井・森谷	19	10	29	
	B	田 中	松 田-	13	17	30	
	C	明 石	金 森	15	11	26	
	D	佐 藤	西 脇	18	15	33	
	3 年 計				65	53	118
総 計				199	150	349	

(2) 出身中学校別生徒数

	開成	陽明	上庄	尚徳	和泉	南部	中部	北部	美山	その他	合計
1年	34	53	15	14	1	4	3	0	1	1	126
2年	32	42	13	10	0	2	5	1	0	0	105
3年	44	35	13	16	3	0	4	0	1	2	118
合計	110	130	41	40	4	6	12	1	2	3	349

(3) 生徒通学方法

	自転車	自家用車	バス	徒歩	電車	計
1年	95	14	3	9	5	126
2年	86	6	4	9	0	105
3年	101	6	2	7	2	118
合計	282	26	9	25	7	349

## 5 進路状況

### (1) 過去の卒業生進学状況（大学合格者延べ数）

学校名	04	03	02	01	30	29	学校名	04	03	02	01	30	29	学校名	04	03	02	01	30	29
<b>【国立大学】</b>							高崎経済大							福井医療大	7	10	6	4	12	9
山形大			1				山梨県立大					1		岐阜協立大	1	4	2	13	3	
宇都宮大						2	三条市立大							岐阜女子大	1	2		1		
群馬大			1				都留文科大					2		愛知大			1			
埼玉大	1						千葉保健医療大				1			愛知学院大	5			1	2	4
東京外大	1						東京都立大				1	1		中部大		2			1	
東京大					1		長野県立大				1			中京大	3	10	5	4	1	7
東京海洋大			1				長野大			1				日本福祉大						2
東京芸術大				1			静岡県立大				1			名古屋外語大	4	6			1	2
東京農工大					2		静岡文化芸術大							名城大		3	3	2	3	1
電気通信大学						2	愛知県立大							京都外語大		2	3		4	1
長岡技術科学大			1				名古屋市立大						1	京都産業大	9	9	3	5	6	7
上越教育大	1			1		1	滋賀県立大			1				同志社大	4	2	3	5	6	3
新潟大	2	2	2	1	1		京都府立大			2		2		京都女子大		3	4	5		1
山梨大			1				福知山公立大			1	1	1		京都薬大						2
信州大	2						大阪公立大						1	同志社女子大		3		1	1	
岐阜大	1						兵庫県立大							龍谷大	11	14	4	3	1	5
富山大	5	5		2	6	5	和歌山県立医科大			1				立命館大	9	7	4	5	4	12
金沢大	2	4	6	6	5	10	岡山県立大			1				佛教大			1			
福井大	13	7	12	6	12	12	島根県立大			2			1	近畿大	10	4	7	6	7	3
静岡大			2	3	1	3	公立鳥取環境大						1	関西大	2	7	3	2		6
名古屋大			1	1	2	3	新見公立大							関西学院大	4			2	2	3
名古屋工大				1			尾道市立大							大阪経済大	1				1	
愛知教育大			1	1	1		周南公立大							関西外語大	1	4				
滋賀大	1		3	1			下関市立大							桃山学院大			1	3	1	
京都大	1						高知工科大						1	大阪産業大		3		5		4
大阪大		2		2	3		<b>公立大学計</b>	<b>32</b>	<b>20</b>	<b>28</b>	<b>21</b>	<b>23</b>	<b>20</b>	大阪体育大				1		
大阪教育大		1		1			<b>国公立大学計</b>	<b>65</b>	<b>44</b>	<b>65</b>	<b>54</b>	<b>60</b>	<b>59</b>	大阪芸術大						1
神戸大			1				<b>【私立大学】</b>							摂南大	3			1		
鳴門教育大		1					青山学院大				2	1		神戸学院大	4			1	1	
広島大	1		2	2	1		北里大	1			1			岡山理科大		1		7		
鳥取大	1			1			上智大					1		甲南大	1			7		
山口大	1					1	駒沢大				1		3	その他	47	64	32	60	27	30
高知大		1			1		東海大	3	2		1	1		<b>私立大学計</b>	<b>203</b>	<b>191</b>	<b>111</b>	<b>181</b>	<b>141</b>	<b>135</b>
九州大				1			専修大	1				3		<b>【短期大学】</b>						
宮崎大		1		1			東京理科大					1	1	仁愛女子短大	3	10	5	3	4	4
大分大			1		1		日本大	1	1	1	3		1	岐阜市立女子短大			1			2
琉球大			1	1			法政大					1	2	三重短大		1			1	2
<b>国立大学計</b>	<b>33</b>	<b>24</b>	<b>37</b>	<b>33</b>	<b>37</b>	<b>39</b>	明治大						1	その他	4	1	3	2	9	6
<b>【公立大学】</b>							中央大	2		1	2			<b>短期大学計</b>	<b>7</b>	<b>12</b>	<b>9</b>	<b>5</b>	<b>14</b>	<b>14</b>
前橋工科大	1						早稲田大				2		1	<b>大学・短大総計</b>	<b>275</b>	<b>247</b>	<b>185</b>	<b>240</b>	<b>215</b>	<b>208</b>
群馬県立女子大					1		立教大				2		1	<b>【文科省管外の学校・専修各種学校】</b>						
福井県立大	7	6	10	9	11	6	芝浦工大						2	防衛医科大(看護)						1
敦賀市立看護大	3	2	2	1	1	3	神奈川大		1					<b>専修各種学校計</b>	<b>10</b>	<b>16</b>	<b>33</b>	<b>25</b>	<b>17</b>	<b>21</b>
石川県立大						1	金沢星稜大	5	2	2	3	6	2	<b>合格者総人数</b>	<b>285</b>	<b>263</b>	<b>218</b>	<b>265</b>	<b>233</b>	<b>229</b>
公立小松大	1	1	1	1	5	4	金沢工業大	11	9	5	6	10	4							
富山県立大	4	2	1	1			福井工業大	39	11	7	4	18	8							
長岡造形大			1				仁愛大	13	5	12	11	12	9							

(2) 令和4年度卒業生進路状況

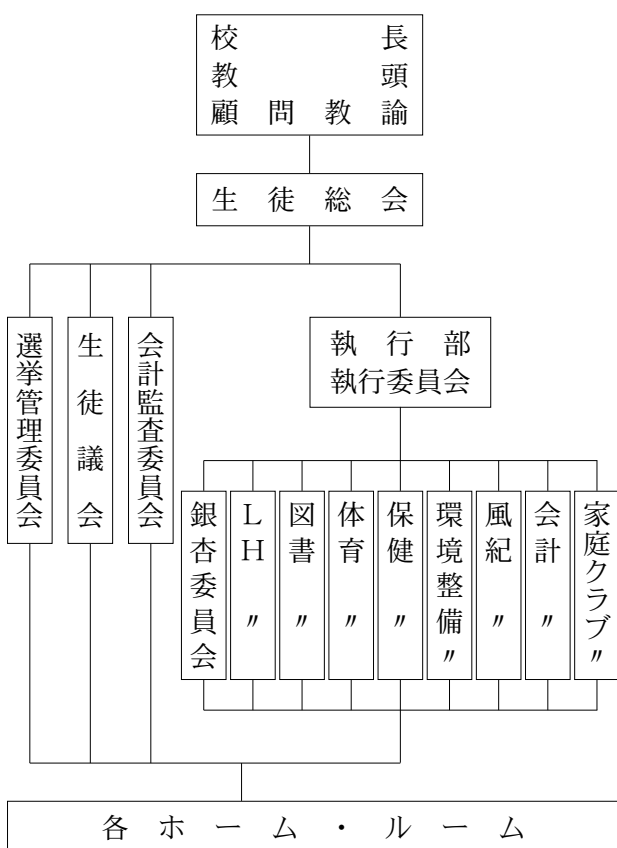
大 学			短 大			専 修			就職	その他	合計
国立	公立	私立	国立	公立	私立	国立	公立	私立			
30	29	43			4			10	1	3	120

(3) 就 職 状 況

令和4年度就職者内訳 民間 0人、公務員 1名（航空自衛隊1名）

## 6 生 徒 活 動

(1) 生徒会の組織



(2) 部・サークル活動

運 動 部	文 化 部
サ ッ カ ー	美 術
ス キ ー (アルペン)	吹 奏 楽
ス キ ー (クロカン)	合 唱
卓 球	メディア(放送・パソコン)
バスケットボール(男)	書 道
バスケットボール(女)	音 楽
バレーボール (男)	
バレーボール (女)	サークル
バドミントン	J R C
野 球	サ イ エ ン ス
陸 上	将 棋
弓 道	E C

## 7 学 校 行 事

全 日 制

月	日	予定行事	月	日	予定行事	
4月	7	入学式	9月	8/31～9/2	学校祭(文化祭・営火祭,大楽祭,体育祭)	
	10	新任式, 始業式, 対面式		15		生徒会役員選挙
	7, 10	第1回課題テスト		27		職業発見講座(1年)
	11, 12	新入生オリエンテーション	10月	6	1年保護者進路ガイダンス	
	13	身体計測		11～14	2学期中間考査(2年)	
5月	1	開校記念日	14～18	2学期中間考査(1・3年)		
	13～17	1学期中間考査	16～19	修学旅行(2年)		
	18	春季遠足	19	秋季遠足(1・3年)		
6月	1～4	春季高校総体	11月	2	2年保護者進路ガイダンス	
	3	煌奏祭		7	学問発見講座(1・2年)	
	6	体力テスト	12月	1～6	2学期期末考査	
	9	3年保護者進路ガイダンス		7, 8	球技大会	
	29～7/4	1学期期末考査		20, 21	保護者懇談会	
7月	5～7	球技大会	1月	9	3学期始業式	
	18, 19	1学期保護者懇談会		9, 10	第3回課題テスト(1・2年)	
	20	1学期終業式		13, 14	大学入学共通テスト	
	未定	オープンスクール		24	スノースポーツデー	
8月	18	全校登校日	2月	25	国公立大学前期試験	
	23, 24	第2回課題テスト	3月	1	卒業式	
	28	2学期始業式		2/29～6	学年末考査	
		12		国公立大学後期試験		
			15	生徒会役員選挙		
			22	離任式, 終業式		

土曜セミナー	4/22(土) (全学年)	6/17(土) (全学年)	9/23(土) (3年)	10/28(土) (1・2年)	1/6(土) (1・2年)	1/27(土) (1・2年)
--------	------------------	------------------	-----------------	--------------------	------------------	-------------------

## 8 校 時 表

通常校時表

予 鈴	8 : 25
朝 S T	8 : 30 ~ 8 : 35
1 限	8 : 40 ~ 9 : 30
2 限	9 : 40 ~ 10 : 30
3 限	10 : 40 ~ 11 : 30
4 限	11 : 40 ~ 12 : 30
昼 食	12 : 30 ~ 13 : 05
予 鈴	13 : 05
5 限	13 : 10 ~ 14 : 00
6 限	14 : 10 ~ 15 : 00
7 限	15 : 10 ~ 16 : 00
清 掃	16 : 00 ~ 16 : 15
S T	16 : 15 ~ 16 : 25

短縮校時表

予 鈴	8 : 25
朝 S T	8 : 30 ~ 8 : 35
1 限	8 : 40 ~ 9 : 25
2 限	9 : 35 ~ 10 : 20
3 限	10 : 30 ~ 11 : 15
4 限	11 : 25 ~ 12 : 10
昼 食	12 : 10 ~ 12 : 45
予 鈴	12 : 45
5 限	12 : 50 ~ 13 : 35
6 限	13 : 45 ~ 14 : 30
7 限	14 : 40 ~ 15 : 25
清 掃	15 : 25 ~ 15 : 40
S T	15 : 40 ~ 15 : 50

# 〈定 時 制〉

## 1 努 力 目 標

### 1. 学校努力目標

- (1) 基礎学力の充実
- (2) 規律ある生活の確立
- (3) 職業観・勤労観の育成
- (4) 健康と体力の増進

### 2. 各部努力目標

#### 〈教 務 部〉

- (1) 基礎学力を向上させ、自ら考える力を育てる。
- (2) 各部との連絡調整を図り、円滑な学校運営に努める。

#### 〈生徒支援部〉

- (1) 基本的な生活習慣の育成に努める。
- (2) 特別活動の活性化で人格形成に努める。

#### 〈庶務・進路支援部〉

- (1) 就労を促し、職業観・勤労観の育成に努める。
- (2) 関係機関や地元企業との連携を図り、適正な進路指導に努める。

#### 〈保 健 部〉

- (1) 環境美化の意識を高め、健康的な生活習慣の育成に努める。
- (2) きめ細やかな支援体制の確立に努める。

## 2 教育課程

### (1) 令和3年度 入学生3(4)か年教育課程

学習する教科・科目

※△は選択科目です

各教科	科 目	単位数	特設授業	各教科	科 目	単位数	特設授業
国 語	国 語 総 合	4		芸 術	音 楽 I	○2	
	現 代 文 B	4	2		音 楽 II	△2	
	古 典 A	2	2		美 術 I	○2	
地 理 史	世 界 史 A	2			美 術 II	△2	
	世 界 史 B		△4		書 道 I	○2	
	日 本 史 A		2		書 道 II	△2	
	日 本 史 B	4		外 国 語	C 英 語 基 礎	2	
地 理 A	2	2	C 英 語 I		4		
公 民	現 代 社 会	2			英 語 表 現 I	2	
					英 語 会 話	2	2
数 学	数 学 I	4		家 庭	家 庭 総 合	4	
	数 学 II		△4		フ ー ド デ ザ イ ン	2	2
	数 学 A	2			服 飾 手 芸	△2	
	数 学 活 用	2	2		情 報	情 報 の 科 学	2・△2
理 科	数 学 B		2	商 業	簿 記	2	2
	科 学 と 人 間 生 活	2			ビ ジ ネ ス 基 礎	2	
	化 学 基 礎	2		生 活 と 職 業	生 活 と 職 業 I		2
	生 物 基 礎	2		小 計	72	30	
	地 学 基 礎	2	2	ホ ー ム ル ー ム 活 動	3(4)		
保 健 育	物 理 基 礎		2	総 合 的 な 学 習 (探 究) の 時 間	3(4)	2	
	体 育	8	2	自 立 活 動	※	※	
保 健 育	保 健	2		合 計	78(80)	32	

☆ 三修制申請者は、特設授業を追加受講することで普通科課程を3年間で修了できる。

※ 数学活用、地学基礎、古典Aの時間に自立活動（通級指導）を実施。

### (2) 令和5年度 入学生3(4)か年教育課程

学習する教科・科目

※△は選択科目です

各教科	科 目	単位数	特設授業	各教科	科 目	単位数	特設授業
国 語	現 代 の 国 語	2		芸 術	音 楽 I	○2	
	言 語 文 化	2			音 楽 II	△2	
	論 理 国 語	6	2		美 術 I	○2	
地 理 史	歴 史 総 合	2			美 術 II	△2	
	地 理 総 合	2			書 道 I	○2	
	日 本 史 探 究	▲4	4		書 道 II	△2	
公 民	公 共	2		外 国 語	英 語 C I	4	
	政 治 ・ 経 済	2	2		英 語 C II	4	2
数 学	数 学 I	4			論 理 表 現 I	2	
	数 学 A	2		家 庭	家 庭 総 合	4	
	数 学 B	2	2		家 庭 基 礎		2
	数 学 II		4		フ ー ド デ ザ イ ン	▲2	2
理 科	科 学 と 人 間 生 活	2			服 飾 手 芸	◆2	
	化 学 基 礎	2		情 報	情 報 I	2	
	生 物 基 礎	2		商 業	ビ ジ ネ ス 基 礎	2	
	地 学 基 礎	2	2		ソ フ ト ウ ェ ア 活 用	◆2	
	物 理 基 礎	2	2		ビ ジ ネ ス コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	▲2	2
保 健 育	化 学		4	小 計	72	30	
	体 育	8	2	ホ ー ム ル ー ム 活 動	3(4)		
保 健 育	保 健	2		総 合 的 な 学 習 (探 究) の 時 間	3(4)	2	
	生 活 と 職 業			自 立 活 動	※	※	
生 活 と 職 業	生 活 と 職 業 I		2	合 計	78(80)	32	

☆ 三修制申請者は、特設授業を追加受講することで普通科課程を3年間で修了できる。

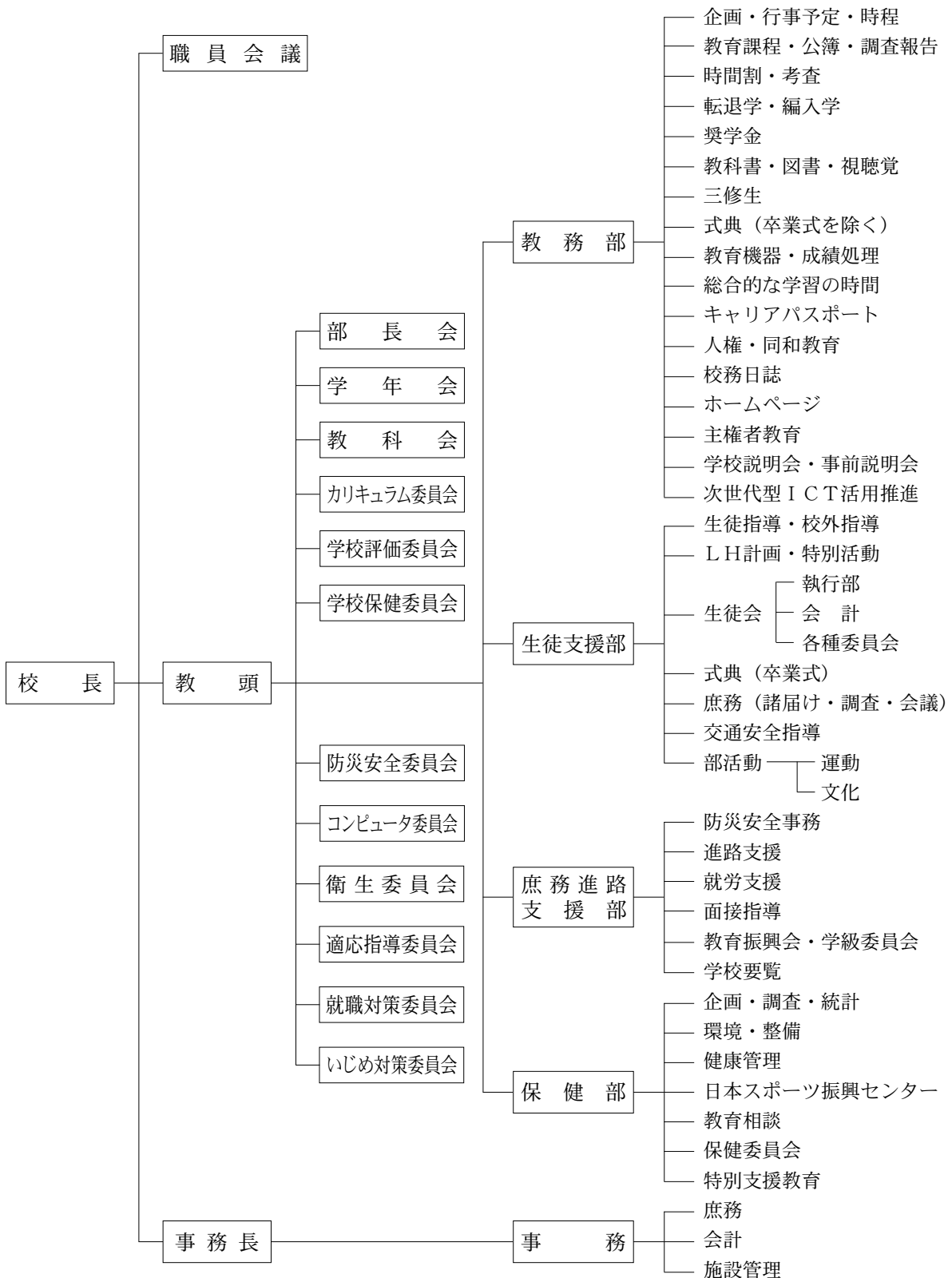
### 3 教職員および組織（定時制）

#### (1) 教職員数

（令和5年4月現在）

校長	教頭	教諭	教諭等兼務	非常勤講師	事務職員	合計
1	1	8	7	6	1	24

#### (2) 校務分掌



#### 4 生徒に関する諸調査および統計

##### (1) 在籍生徒数及び学級編成

(令和5年4月現在)

学年	男子	女子	合計
1年生	11	8	19
2年年	6	12	18
3年年	5	7	12
4年年	6	1	7
合計	28	28	56

##### (2) 出身中学校別生徒数

地区	大 野 市					勝 山 市			その他	合計
	開成	陽明	上庄	尚徳	和泉	北部	中部	南部		
中学校	14	20	1	1	1	5	5	5	4	56

##### (3) 生徒通学方法

種別	徒歩	自転車	バス	電車	その他	合計
人数	5	28	14	2	7	56

##### (4) 卒業生の進路

(令和5年3月末現在)

		進 学						就 職						そ の 他	
		大 学		短 大		専門学校等		製 造		サービ		そ の 他			
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
県内	奥越							2	1	2					
	福井					1	1								
県外	関西														
	その他		1			1		1							
合計		0	1	0	0	2	1	3	1	2	0	0	0	0	

〈進学先〉岐阜協立大学、福井市医師会看護専門学校

〈就職先〉株式会社 エツミ光学、株式会社 ナカムラメンテナンス、KBサーレン株式会社 北陸合織工場  
株式会社 米澤物産、株式会社 野田電気 勝山工場

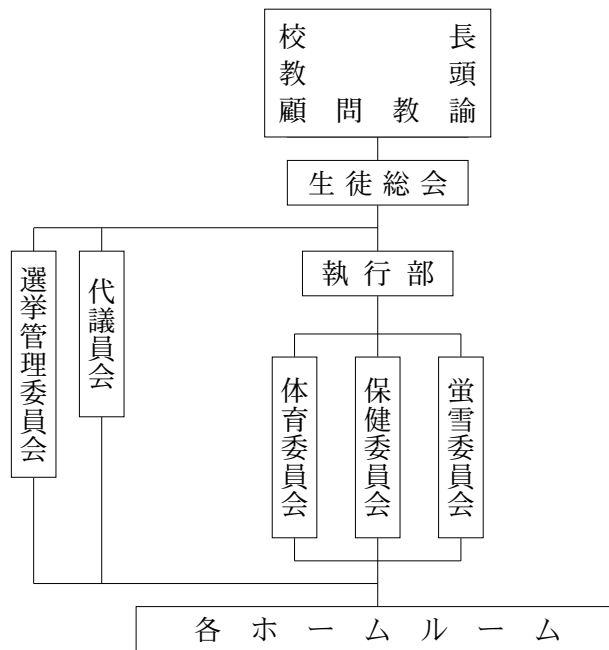
##### (5) 生徒の職種別人数

種別	サービス職業従事者			生産工程従事者		輸送・機械 運転の職業	その他	無職	合計
	接客・給仕	介護	その他	製造・加工	その他				
合計	0	0	2	4	0	0	0	0	6



## 5 生徒活動

### (1) 生徒会の組織



### (2) 部活動

運動部	文化部
クラブ名	クラブ名
男子バドミントン	ワープロ
女子バドミントン	家庭園芸
男子卓球	美術部
女子卓球	

## 6 学 校 行 事

定 時 制

月	日・曜日	行 事	場 所
4	11 (火) 12 (水) 20 (木) 28 (金)	入学式 対面式、新任式、前期始業式 学級委員会 新入生歓迎会	
5	1 (月) 16 (火) 18 (木) 23 (火) 22 (月) ~25 (木) 26 (金)	開校記念日 亀山清掃 (環境学習) 避難訓練 大野高等学校定時制教育振興会総会 前期中間考査 遠足	
6	11 (日) 12 (月) 30 (金)	県高校定通総合体育大会 保護者懇談会・教科書選定委員会 体育祭	福井市
7	19 (水) 20 (木) 21 (金) ~8/24 (木)	就職予定者三者懇談会 全校集会 夏季休業	
8	25 (金)	全校集会	
9	6 (水) ~11 (月) 20 (水) 21 (木) 29 (金)	前期期末考査 球技大会 保護者懇談会・修学旅行選定委員会 前期終業式	
10	1 (日) ~ 7 (土) 2 (月) ~ 4 (水) 2 (月) ~ 3 (火) 10 (火) 14 (土) 21 (土) ~22 (日)	秋季休業 修学旅行 (3年生) インターンシップ (2年生) 後期始業式 県高校定通連合文化祭 北信越定通総合体育大会	道守高校 富山市
11	2 (木) 25 (土)	文化祭 県高校定通新人大会	福井市
12	6 (水) ~11 (月) 19 (火) 20 (水) 22 (金) 25 (月) ~1/7 (日)	後期中間考査 球技大会 保護者懇談会 全校集会 冬季休業	
1	9 (火) 19 (金)	全校集会 冬の遠足	
2	5 (月) ~ 7 (水) 13 (火)	後期期末考査 卒業生を送る会	
3	1 (金) 12 (火) 18 (月) 21 (木) 22 (金)	卒業式、表彰式 専門学校見学 職場見学 保護者懇談会・学校評価委員会 後期終業式	

## 7 校 時 表

登 校	8 : 35 ~
S · H	8 : 40 ~ 8 : 45
1 限	8 : 45 ~ 9 : 30
2 限	9 : 35 ~ 10 : 20
清 掃	10 : 20 ~ 10 : 30
3 限	10 : 35 ~ 11 : 20
4 限	11 : 25 ~ 12 : 10
昼 食	12 : 10 ~ 12 : 50
特 設 1	12 : 50 ~ 13 : 35
特 設 2	13 : 40 ~ 14 : 25

# 教 職 員 一 覧

[全 日 制]

教科	職 名	氏 名	担 任	校務分掌	部, サークル 顧問	教科	職 名	氏 名	担 任	校務分掌	部, サークル 顧問
	校 長	中森 雅巳					教 諭	山腰 甚一	3年付	生徒支援	卓球
数学	教 頭	福田 浩之					教 諭	森谷 町子	3主任 3A副	生徒支援	バレー (男)
国語	教 諭	松田 一巳	3 B副	図書庶務	水泳	英語	教 諭	山本 千絵	1 B副	保健相談	合唱・JRC
	教 諭	山口 伴子	2主任 2A副	教務	陸上		教 諭	松居 貴昭	1 A正	進路支援	バレー (男)・ EC
	教 諭	佐藤 拓也	3 D正	教務	サッカー		教 諭	松山 公香	2 C正	進路支援	卓球・吹奏楽
	教 諭	小池 千鶴	2 B正	進路支援	吹奏楽		教 諭	稲葉 芳明	2 D副	教務	音楽愛好会・ 合唱
	教 諭	藤間 瑞穂	1 C正	教務	バドミントン		非常勤 講 師	山村 宗武		非常勤	
地歴	教 諭	反保 博文	1 C副	図書庶務	サッカー	ALT	ビーティカ パ・シアナ		ALT	EC	
	教 諭	小松 直子	2 C副	探究企画	バスケット (女)	体育	教 諭	阪井 幸人	3 A副	図書庶務	スキー(アルペン)
	教 諭	田中 徹博	3 B正	進路支援	野球		教 諭	酒井 隆則	1 A副	生徒支援	バレー (男)・ スキー(アルペン)
	教 諭	大森 健心	1 B正	探究企画	バドミントン		教 諭	南部 諭史	2 A正	図書庶務	陸上
	非常勤 講 師	南部 泰啓		非常勤			教 諭	富樫 千明			
教 諭	松田 立行	2年付	教務	野球	臨 任 講 師		澤田美彩貴	2 B副	生徒支援	バスケット (女)	
数学	教 諭	出口 勝也	3年付	進路支援	バレー (女)	非常勤 講 師	村田 顕吾		非常勤		
	教 諭	中井 敬寛	1 D正	教務	バスケット (男)・ スキー(アルペン)	芸術	教 諭	宮越 健司	1年付	保健相談	書道
	教 諭	小谷 恭子	1主任 1A副	進路支援	バレー (女)		臨 任 講 師	前田 大鵬	1年付	図書庶務	美術
	教 諭	榊原 佑佳	3 A正	進路支援	吹奏楽		非常勤 講 師	十時 佳美		非常勤	
	教 諭	西脇 繁和	3 D副	保健相談	スキー(クロカン)・ 将棋	家庭	教 諭	時田 美紀	2 A副	生徒支援	弓道・美術
理科	教 諭	金森 守	3 C副	探究企画	メディア	情報	非常勤 講 師	筒井由起夫		非常勤	
	教 諭	竹内 健	1 D副	生徒支援	バスケット (男)		養 護 教 諭	道坂 美加			
	教 諭	明石 清貴	3 C正	教務	弓道		養 護 臨 任	戸軽 茂仁	2年付	保健相談	水泳
	教 諭	永吉 佑	2 D正	教務	サイエンス・ 卓球		実 習 助 手	玉木 弥	1年付	進路支援	バドミントン
	教 諭	糸見 千晶					実 習 助 手	山崎志保美	2年付	図書庶務	音楽愛好会
	臨 任 講 師	荒木 穂高	1年付	生徒支援	サイエンス						
	非常勤 講 師	安野 勝人		非常勤							
非常勤 講 師	富永 英之		非常勤								

教科	職名	氏名	担任	校務分掌	部, サークル 顧問	教科	職名	氏名	担任	校務分掌	部, サークル 顧問
	事務長	上野 悦生					非常勤 舎監	谷口 誠一			
	主任	久保 悦子					臨任 調理員	楠 有紀子			
	主事	道願 敏之					校医	松田 祐一			
	任用 員	野田深津記					校医	堀 周平			
	校務員	道岸 利邦					薬剤師	酒井 和子			
	校務員	中矢 直紀									
	校務員	加藤 正喜									

[定 時 制]

教科	職名	氏名	担任	校務分掌	部 顧 問	教科	職名	氏名	担任	校務分掌	部 顧 問
	校 長	中森 雅巳					教 諭 兼 務	宮越 健司			
理科	教 頭	上中 一司				芸術	教 諭 兼 務	石倉 千智			
	教 諭	澤田 和代	4年 (正)	生徒支援	美術		教 諭 兼 務	間所 節夫			
国語	教 諭 兼 務	松田 一巳					家庭	教 諭	高津 早苗	1年 (副)	保健
	非常勤 講 師	松尾 慶子				教 諭 兼 務		時田 美紀			
地歴 公民	教 諭	中村 賢	2年 (正)	教務	男女卓球	商業	非常勤 講 師	山岸敬一郎		庶務進路	ワープロ
	非常勤 講 師	山岸敬一郎					情報	教 諭	中村 賢		
数学	教 諭	井川 潔	3年 (副)	庶務進路支援	男女卓球	非常勤 講 師		筒井由紀夫			
	教 諭 兼 務	西脇 繁和				通級	教 諭 兼 務	福田 洋香			
理科	教 諭	酒井 武裕	4年 (副)	教務	男女バドミ ントン		非常勤 講 師	大廣喜与美		(保健)	
保健 体育	教 諭	奥島 傑良	2年 (副)	生徒支援	総括		S C	竹本 純代			
	非常勤 講 師	村田 顕吾					S SW	谷口 有加			
英語	教 諭	清水 慈昭	1年 (正)	生徒支援	ワープロ		特 別 支援員	清水由美子			
	教 諭	織田 昌宏	3年 (正)	教務	男女バドミ ントン		主 任	久保 悦子		事務	

## 学校図書館の概況

- (1) 施設 閲覧室224.28㎡ 司書室40.5㎡ 書庫202.50㎡ 沿革資料室75.19㎡  
調査研究室51.1㎡

### (2) 図書資料

#### ア 分類別蔵書構成（令和5年4月現在）

分類別	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	技術工学	産業	芸術美術	言語	文学	その他	和漢蘭書	計
令和3年度まで	6,266	2,064	5,542	6,170	5,670	2,366	1,272	4,463	2,146	15,842	228	5,493	(冊) 57,522
令和4年度受入	32	26	12	53	17	11	6	15	13	180	12		(冊) 377
合計	6,298	2,090	5,554	6,223	5,687	2,377	1,278	4,478	2,159	16,022	240	5,493	(冊) 57,899
蔵書率	12	4	11	12	11	5	2	9	4	30			% 100

※その他は映像資料を表す。

#### イ 別置図書

大野藩明倫館及び大野藩洋学館旧蔵の和漢書及び洋書を受け継いでおりその目録が整備されている。貴重書は本校の不燃書庫に格納して保管している。

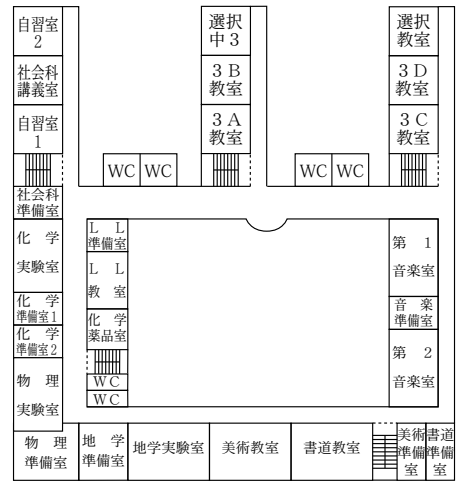
その例としては次のようなものがある。

- (ア) 国書…日本書紀（慶長15年刊）古事記（寛永21年刊）増補改正訳鍵（大野藩広田憲寛編著 安政4年刊）海上砲術全書（大野藩蔵版 安政2年刊）ゾーフ・ハルマ（毛筆筆写本）
- (イ) 漢書…五代史記（明嘉靖刊本）両晋南北史合纂（明萬曆刊本）論衡（明嘉靖刊）漢書評林（明曆4跋刊）資治通鑑（天保7年刊）地球説略（萬延元・3刊）他山の石（木活）
- (ウ) 蘭書…・Woordenboek der Nederduische en Fransche taalen; dictionaire Flamand et Francois. (1781刊)
- ・ Le grand dictionnaire, Francois et Flamand; het groot Fransche en Nederduische Woordenboek. (1781刊)
  - ・ Taktiek der drie wapens. (1837刊)
  - ・ Engelsch Lees-en Vertaalboekje voor Eerstbeginnden. (大野藩洋学館蔵版1857刊)
- (エ) 英書…・ An American Dictionary of the English Language; by Noah Webster, LL. D. (1852刊)
- ・ Agitated Japan; The Life of Baron II Kamon No-Kami Naosuke. (1896刊)

# 校舎案内図

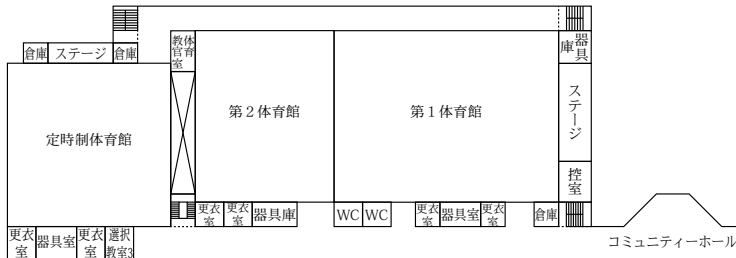
(令和5年度)

(普通教棟) 3階

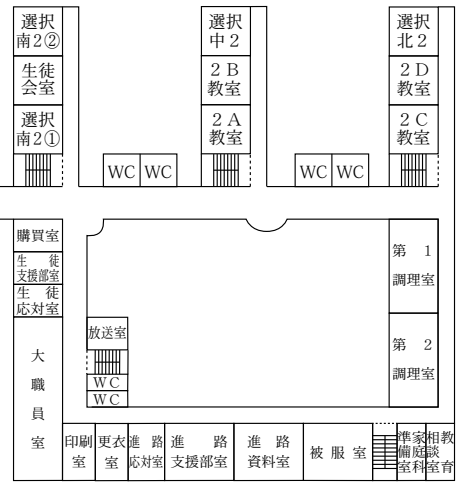


(管理棟)

(体育館)



(普通教棟) 2階



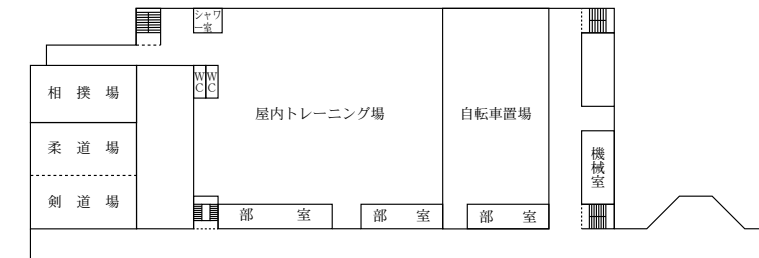
(管理棟)

(定時制教棟)

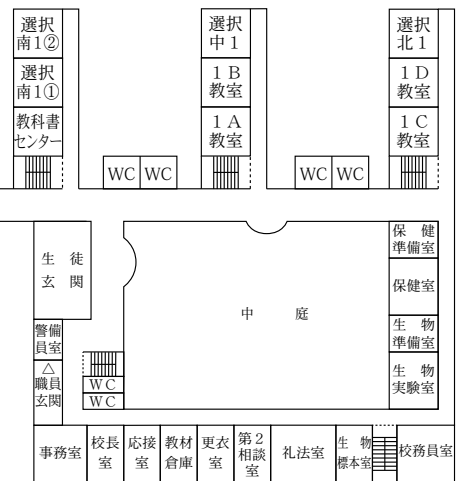
(図書館棟)



(体育館)



(普通教棟) 1階

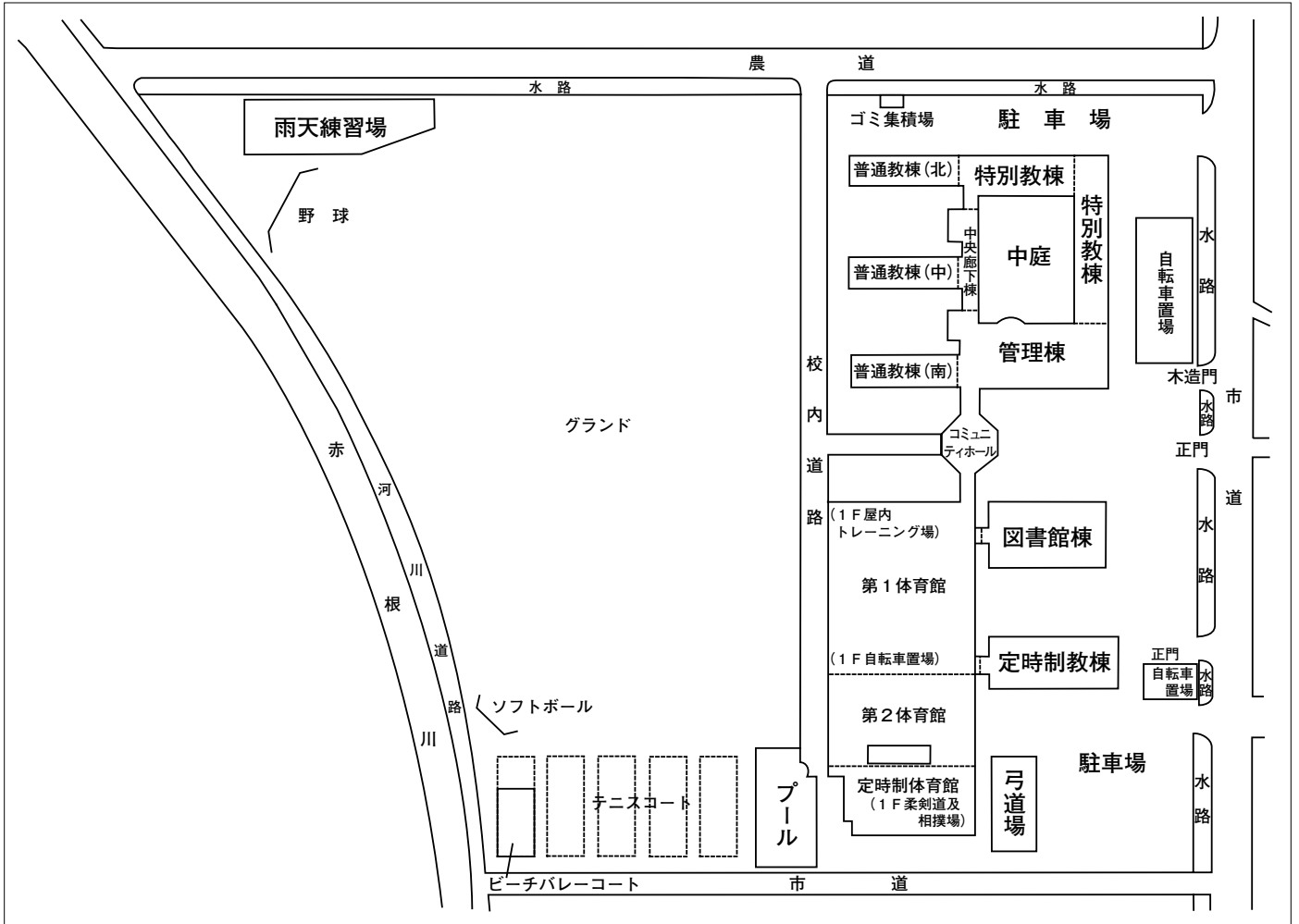


(管理棟)

(定時制教棟)

(図書館棟)

# 校舎配置図



## (学校案内図)

